

2019 年度 府中市学童保育「市議との懇談会」議事録

1. 日時 2019 年8月2日(金) 19:00～21:00

2. 場所 中央文化センター 4F 会議室

3. 出席者 敬称略

(1)府中市議会議員（出席者 8 名 欠席者 2 名）

自由民主党市政会

- ・ 出席者なし

府中市議会市民フォーラム

- ・ にしみや 幸一 代表
- ・ 前川 浩子
- ・ 稲津 憲護

公明府中

- ・ 西村 陸 幹事長

日本共産党府中市議団

- ・ 赤野 秀二 団長（当日欠席）
- ・ 竹内 祐子
- ・ 結城 亮(当日欠席)

生活者ネットワーク

- ・ 西の なお美 代表
- ・ 奥村 さち子

自由クラブ

- ・ 杉村 康之 代表

新政会

- ・ 出席者なし

府中市議会都民ファーストの会

- ・ 出席者なし

(2)府連協（出席者 4 名）

- ・ 会長
- ・ 副会長
- ・ 事務局
- ・ 事務局

(3)学童父母会（出席者1名）

- ・ 会長

4. 配布資料

- ・ 市議との懇談会出席者
- ・ 2020 年度予算編成に関する要望書_20190730

5. 議事

➤ 事務局

- ・ ボイスレコーダーにて議事録作成のための録音予定であることの説明。

➤ 会長

- ・ 私たちは児童心理学、市政、法律等を熟知しているわけではない。小学校低学年の一般的な保護者の集まり。要望、質問で無知からくるご無礼がありましたらご容赦いただきたい。
- ・ 50年以上活動を続け、学童クラブの保護者によって組織されている。
- ・ 子供を中心とした学童の生活が送れるように、また安心して子供を預けられる体制を作っていきたい。地域、議員、各学童とつながって連絡をとっている。
- ・ 主な活動としては、実態調査をもとに要望書を提出している。
- ・ 単年で役員は交代。毎年引継ぎながら運営している。
- ・ 今回の趣旨は、要望書を提出して、現状も含め我々がどのようなことを考えているかの情報交換会である。

➤ 副会長

- ・ 事前にメールにて配信している「放課後児童健全育成事業(学童クラブ)2020 年度予算編成に関する要望書」を基に確認いただきたい。

➤ 会長

- ・ P1 に 16 の学童が明記されているが、これは全部の学童でなく府連協の活動にご賛同していただいている学童数である。
- ・ 来年度の予算に間に合うように、アンケートをとり、翌年に要望書を提出するというサイクルで活動している。今回は、2018年に実施された実態調査である。

■ 第1の要望

- ・ まず第1の要望として、**【育成時間の延長を求めます。】**開館時間を8時へ統一し、閉館時間を19時まで延長、それに伴い集団下館の時間帯を増やすことを求めます。
- ・ 今の時間帯では安心して働くことはできない。厳しい状況である。子供が、毎日早く帰って1時間か2時間、家で待っていなければならない家庭もある。1年生、2年生の段階で。
- ・ 小1の壁とも言われている。新しい環境で小学校、学童に行き、突然、行きたくないと言って保護者が困る場合もある。
- ・ 以前から要望している内容であり、働いている保護者にとっては現状の時間帯では難しい。3つの多摩のエリアである20万人規模の自治体に拡大しても、府中市が時間帯としては一番短い。
- ・ 要望書の順番は優先度合を表している。

■ 第2の要望

- ・ **【放課後子ども教室(けやきッズ)とは一体化しないことを求めます。】**学童保育と放課後子ども教室の独自性の発揮と各々のニーズに合った形での発展を求めます。学童クラブは「保護者が安心して子育てと仕事等を両立できるように支援し、子どもの生活の基盤である家庭での養育を支援する必要がある。」としているのに対して、放課後子ども教室は「全児童を対象とした遊びや学び等の場所を提供するもの」であり保育という面で外れるものである。

- ・ 子供が生活するという面で全く違うものである。

■ 第3の要望

- ・ **【学童の大規模化に伴い学童クラブ施設の改善を求めます。】**以前から要望しているものである。
- ・ 大世帯、多数世帯の学童が多数存在する。子供たちが狭く、暑い中で身を寄せ合っておやつを食べているという実態もある。 子ども1人につきおおむね1.65㎡以上の専用区画面積基準は承知している。第1学童等は是正してもらってありがたいと思っている。
- ・ 8年前から担当しているが、やっと改善して、それだけかかるものなのかと感じている。
- ・ 世帯が少ない学童もある。団地が集合しているかによって種類も異なるので難しい面もあると思うが、根本的に安心、安全という枠の中で子供たちを置いていただけるように3番目の課題として認識していただきたい。

■ 第4の要望

- ・ **【長期的視野に立った指導員の採用と労働条件の向上を求めます。】**
- ・ 毎年のように要望を提出している。先日、国が基準を緩和するという話が出ている。上の組織である全国学童保育連絡協議会でも国会に署名提出している。
- ・ 指導員は、子供たちが直接接するいわば先生でもあり、学童が第2の家庭であるとする、コロコロと指導員が替わるのは子供たちに影響を与えかねない。
- ・ 住吉では、男性が学童出身で、大人になっても指導員として来ている方もいる。とてもすばらしい絵だと思っている。
- ・ 一方で、指導員に問題があるという話も聞く。怖くて子供が近づけないという話もある。市では人員不足で難しいと話をしているが、安心、安全、学童が第2の家庭であるとする、どうしても質を落とすわけにはいかない。府中市は公設公営であり、役所、関係者にかかわることである。国、東京都の条例があったとしても、府中市として独自の実態にあった採用基準、教育方針を採っていただきたい。
- ・ 東京都学童保育連絡協議会、各23区も同じようなことが言われている。指導員についての採用基準、教育方針の説明会が頻繁に行われていて、意見交換がされている。大きな枠、国家単位で法律が施行されるので、府中市も真剣に取り組んでいただければと思う。

■ 第5の要望

- ・ **【育成内容に関して公営・公設での運営と共に以下について改善を求めます。】**
- ・ 公設公営でしかも待機児童なしであり、とんでもなくありがたい状態にあることは十分承知している。
- ・ 公設民営、民設民営といった情報は、全国学童保育連絡協議会、東京都学童保育連絡協議会、または主催するフォーラムでも情報を入手している。民営化されるとサービスの向上を基に保護者からの要望は通りやすい。しかし、民間であり、人員確保がままならないとかでサービスの低下もある。公設民営は、民営として受け持つ最低限を維持する傾向もある。社会においてインフラ事業とは理解しているが、人を確保できないという問題もある。
- ・ 東京都学童保育連絡協議会の文京区で開催された説明会では、先生の給料、指導員の給料を教えてくださいという質問があった。安かったから簡単にかわってしまうので困るということである。

- ・ 公設公営であれば絶対それが維持できるかは考えていないが、府中市の特殊な事情をどれだけ維持できるかが課題であると思っている。利益を追求する民間でなくて、生活、市民を第一に考えている公設公営を訴えていくのだと諸先輩からも聞いている。大変かもしれないがぜひキープしてほしい。
- ・ 次に、【4年生以降の受け入れ拡充を求めます。】
- ・ 4年生以降の受け入れについて一部の学童では実施されている。
- ・ 学童クラブに入ったところと比べてとても立派になって卒園しているなど感じることもある。しかし、立派でも、何かに巻き込まれていたら一発で大変なことになる。不審者情報の連絡が入り、エリアが違っていると分かって怖いなど感じる。関係ないことはない。どこでも起こりうること。事情があって、どうしても4年生以降も預けたいという人の支援も考えていただきたい。
- ・ 続いて、【南白糸台学童クラブの隣接地への移転と安全対策の拡充を求めます。】
- ・ 昔からあること(要望)である。府連協としては絶対に外せないと考えている。
- ・ ここだけはこういう状態で、非常に危険。
- ・ 学校の敷地内を歩いて学童クラブに行ける住吉と比べると非常に危険。
- ・ 一年生の死亡率が高いと言われ、慣れて3、4か月、半年が危ないと言われている。
- ・ 南白糸台では、私の視点からすると安全についてまるっきりキープしていないと感じる。住吉であれば完全に校庭の中を通して学童クラブに行ける。これが理想である。ぜひ考えて頂きたい。
- ・ 続いて、【一日育成の際の宅配弁当などの利用を求めます。】
- ・ 昨年もあるが、実態調査で賛成多数で何としても、という種類ではない。
- ・ 保護者としては口に入るものの安全を考えている。以前にもまして、気温、湿度は全く異質である。健康について子供が自分でキープすることは難しい。集団食中毒もある。そういったことも覚えておいてほしい。
- ・ 次に、【各学童クラブ設置の防災備蓄品に関し、当年度の児童数に応じた備蓄品の提供を求めます。】
- ・ 大震災以降、具体的に調査して、順次改善しているが、学童の人数に応じたという点をキープしてもらいたい。
- ・ 続いて、【指導員の対応に改善が必要とされるケースが発生した場合の、指導内容に関する明文化と開示を求めます。】
- ・ 中には保護者から見て問題がある指導員もいるという声も聞く。その場合、こちらとしては簡単に変えてくださいという問題ではない。変えて頂いた指導員が他の学童に行くだけとなるとその学童でも問題ということになり、府連協としてはそういう問題ではないと認識している。
- ・ 市からは返事があり、マニュアルに沿っているという回答があるが、現実はそのようではない。
- ・ 指導内容に関する明文化と開示はあるが、十分でないのではと感じる。
- ・ その他要望・理由など
- ・ これ以下はメインというより こういうことです(情報共有)という内容である。

- ・ **【トワイライトや民間預かりサービスを利用していない理由】**について、各学童から出た意見です。ここは要望とは違う、情報共有である。
 - ・ 以上、予算編成に関する要望書として提出した内容である。
-

➤ 副会長

- ・ 1つ目から質疑応答になります。

➤ 会長

- ・ 結論を出す会でないのでよろしくお願いします。こういうことを考えているということでご意見をお願いしたい。

・ **1. 育成時間の延長を求めます、について。**

➤ にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)

- ・ 出席者の学童を教えてください。

➤ 父母会・府連協

- ・ 第七、住吉、第十、南町

➤ にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)

- ・ 3多摩のフォーラムに参加。文化会で小金井の学童の話があった。民間と共存している学童があつて、19時まで延長しているところがあった。どれだけ利用しているかと聞くと全体の1割という回答だった。
- ・ 19時までのニーズがあることは分かるが、実態としてどれぐらいの割合で求められているか。

➤ 会長

- ・ 保護者の帰宅時間のグラフが、2018年に実施されたアンケートの結果である。19時以降は全体としては少数。明確に何時までとは確認していない。19時まで延長されると7割の方が助かる。
- ・ 2018年の結果だが以前からの状況である。

➤ 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)

- ・ 数十年前からあり変わっていない。地域で立ってくださる方もいるが変わっていない。驚きである。鍵の練習もしなければならない。都内での共働きの比率も高い。働き方にあつていない。1年生から3年生が1人で家まで帰るとなると怖い。ちゃんと鍵を開けられたただろうかなども想像して。

➤ 会長

- ・ 鍵も相当訓練しなければならない。ただ、相当難しい。鍵が開いている、また、近所に頼んで鍵を開けてくださいと頼むなんて話もある。

➤ 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)

- ・ 保育園だと親同士のつながりがある。学童だと強固なつながりがない。近所に頼むというわけにはいかない。鍵をなくして鍵が開けられないという話もある。怖いと思う。まだこういうことがあるのかと感じている。

➤ 副会長

- ・ 保育園が延長保育をしてくれて、迎えに来てくれるところもある。学童がやってくれたらと思う。(親が)5時に帰るのは難しい。
- **会長**
 - ・ 府中市の専業主婦の割合は分からない。全国では2割、3割と言われているので、7割ぐらいが共働きとなり、それは府中市だけが特別ではないのでは。ぜひ改善していただきたい。
- **にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)**
 - ・ 公設公営での運営の堅持について昔は(要望項目が)上位だったが、今は5番目に優先順位が下がっている。延長(保育)の話は公設公営とわけられないので、考えを聞きたい。
- **会長**
 - ・ 以前に上位であったことは私自身がたまたま知っている。当時は民設民営などの流れが進んでいて、公設公営を堅持という役員も多かったと考えている。
 - ・ 順番が下がっているからといっても、あくまでも要望である。
 - ・ 当時、要望は箇条書きだった時もあるが、今は絞っている。あくまでも要望であり、すべて叶えていただきたい。
- **西の なお美 (生活者ネットワーク代表)**
 - ・ 8時から19時までの要望について、調布市は8時なのになんで府中市だけはということは聞いている。8時からという要望はどれくらいの割合で要望されているのか。
- **会長**
 - ・ スタートの時間について、数字で完璧に把握はしていない。
 - ・ 保護者の帰宅時間帯に関するアンケートのグラフで多いところがある。
 - ・ 府連協として提出となると8時として統一している。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 学校は8時15分。それで夏は、となると子供がアジャストすることが大変。子供は生活リズムが狂う。
- **事務局**
 - ・ 夏休みは申請して認められれば8時、そうでない場合は8時30分。1秒でも前につくと怒られる。子供は時計を持っていないので蚊にさされながら待つこともある。土曜日は8時30分(訂正45分)。夏休みだけはこの運動が実ったかは分からないが8時になった。つい最近である。先生の勤務時間が開館閉館とピッタリ同じであることが問題。
- **会長**
 - ・ つい2、3年前に認められた。早く来すぎてもダメ、遅く迎えでもダメ。そこに待つことがダメ。
- **西の なお美 (生活者ネットワーク代表)**
 - ・ 朝が心配。鍵を閉めたかなど。8時になってよかったと思っていたが、認識が違った。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 障害を持つお子さんを持つ福祉家庭で、家で遊ばしてから行くケースもある。若松のケースでは、早く来てしまい学童隣のセブンイレブンの駐車場で待っているケースもある。隣接して土地が空いているあるから以前に拡張してくれという話があったが、それが今はど

こいったのか。調べてみる。

- ・ **2 . 放課後子ども教室(けやきっず)とは一体化しないことを求めます、について。**
- **西の なお美（生活者ネットワーク代表）**
 - ・ 一体化している状況があるからということか。
- **会長**
 - ・ 要望は7年、10年前からある。民営化が走りのとき。市としては拡張が難しく、けやきっずがあるからと回答があった。根本的に違うとは話をしている。すでに一体化しているわけではない。別個にしていきたい。
- **副会長**
 - ・ 学童によっては、途中に、けやきっずと遊んでいる話も聞く。
- **会長**
 - ・ けやきっずは保護者会がないので楽だ、という保護者もいる。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 受託している団体にもよる。シルバーの方もいれば、若い方も。けやきっずがつまらないということか、子供たちがバレーをしている体育館に流れ込んでくる場面を見ることもある。一緒に遊ぶことはあっても、学童とけやきっずはハードとして別のものと存在している。プログラムとしては交流があってもいかもしれない。ただその場合は、スペースを拡大する必要がある。
- **副会長**
 - ・ 学童は保育であるが、けやきっずは行って帰ったのかまではみていない。安否確認はない。心配である。安否確認してくれれば違うかもしれない。
- **会長**
 - ・ けやきっずは楽しいところはある。基本は遊んでくれる場所であり、保育とは違う。おやつ等はない。
- **父母会会長**
 - ・ 学童では半分宿題やってきてくれる。家で音読などの宿題ある。けやきっずだとそれができないので、家庭で就寝時間がずれる可能性がある。
- **事務局**
 - ・ 学童は生活する場であり、保育の資格が必要。 児童心理学など。けやきっずだと、怪我の予測もできず、子供の心理、体調変化など心配。けやきっずに絶対預けられない意見もある。
- **西の なお美（生活者ネットワーク代表）**
 - ・ 5, 6年前は学童には入れずに、けやきっずが増えているという話もあった。話を聞くと、けやきっずが楽で、連絡帳を書かなくていいことなどもあった。ここ1年、2年は学童への比率が高いと聞いている。併用している方もいると聞いている。 学童は個別に並んで帰るが、けやきっずはいきなり解散となると危険もある。
- **会長**
 - ・ 住吉は併用がほとんどない。

- **事務局**
 - ・ 学童は出欠席をとる。けやきでは迎えは不要。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ パートの方で、けやきっずが便利という方もいる
- **事務局**
 - ・ 学童は勤務時間等を記入して申請が必要。働く時間が少ない方、子供が自立している方、指導員等との対応が面倒でけやきっずを利用しているという声を聞く。
- **会長**
 - ・ フルタイムで仕事が都内となるとけやきっずは難しい。
- **副会長**
 - ・ フルタイムでけやきっずは難しい。なにか、3. 11のようなことがあると。
- **事務局**
 - ・ 遊びを監視するのがけやきっずで、一方、学童は生活の場、保育という場の提供という点で全く違うので一緒にしていただきたくないという要望である。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 国が放課後事業をどうしようかと考えているときに、学童、けやきっずはどうなのだと注視しなければいけない状況にはある。けやきっずには(運営団体によって)差がかなりある。
- **杉村 康之(自由クラブ代表)**
 - ・ 一体化するという声があるのか。それは役所からか。一体化のメリットは。
- **会長**
 - ・ 諸先輩から預かっている課題で、どこで話しがでているかは分からない。民営化の流れの中で、役所よりけやきっずとの話があり、具体的なケースとして話があったとは聞いている。
 - ・ 何を言われたかは分からない。ただ、安心、安全から、けやきっずは外れるので同じように考えてもらっては困る。
- **西の なお美 (生活者ネットワーク代表)**
 - ・ 学童の放課後こども教室を国が推進している流れもある。川崎市は進んでいるが問題も起こっている。おやつがなくなったりも。子供たちにとってはなんで形態によって分けられてしまうのかという話もある。
 - ・ 学童は家の代わりで、学校の居場所とは異なるという諸先輩方からの流れかと思う。
 - ・ 府連協にいたところからの話である。
 - ・ 市は国の流れに沿って進めようという気配があった。
 - ・ 4年前ぐらいか市がアンケートしたが、放課後こども教室との併用の理由としては、子供が行きたがっている、という意見が多かった。そのとき府連協が強く主張して、2番目の要望になっていると思われる。
- **杉村 康之(自由クラブ代表)**
 - ・ おそらく国もやり続けているが、文科省と厚労省の違いから、一体化ということはあるながらも現場の反発、大臣も変わるなかでなかなか前に進んでいないのが実態では。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 直近では9月に「新・放課後子ども総合プラン」が出ている。

- **西村 陸(公明府中幹事長)**
 - ・ 「新・放課後子ども総合プラン」では、なんとか学童側に寄せるように書かれている。23年に向けて進めていく。学校を開放した学童と、深読みはしていないが私たちを含め動きは注視しなければいけない。
- **杉村 康之(自由クラブ代表)**
 - ・ 南白糸台のスペース等についても、その動きの中で対応できる可能性がないわけではない。色々な工夫ができる可能性はある。
- **副会長**
 - ・ 100ではないが90点でもということか。
- **杉村 康之(自由クラブ代表)**
 - ・ そう。例えば、けやきっずがなくなることなども。
- **事務局**
 - ・ 生徒が増えて、学校の教室が足りていないなか、綺麗に、また耐震となると、厚労省基準の学童のスペースを拡大することはできないのでは。
- **西村 陸(公明府中幹事長)**
 - ・ 学童側を増やすということではなく、管理者も置き、緩和していく。国も努力していく、シェアをしていくという流れ。学校は地域ともシェアをしていくことも求められ、今すぐには無理かもしれないが考えていく必要がある。
- **会長**
 - ・ 障害のあるお子さんは、学童には友達と一緒にいけず、保護者が迎えに来てくださいと。学校の敷地を通ることもできず、文科省から保護者への引き渡しとなる。保護者は働いているから学童に預けているのに、どういうことかと思う。
- **にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)**
 - ・ 典型的な例として話すと、発達障害の方で学校と学童で情報は共有されていないと感じるか。
- **会長**
 - ・ ない。
- **副会長**
 - ・ 学校からは教えてくれないと聞く。
- **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 国は一体化して待機児童を解消したいと考えている。小金井市は高い。民間でも色々ある。
- ・ **3. 学童の大規模化に伴い学童クラブ施設の改善を求めます、について。**
- **稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)**
 - ・ 基準を下回っているとされる4つの学童を教えてください。
- **会長**
 - ・ 府連協に所属している学童で平成29年度は4つの学童である。
- **事務局**

- ・ 平成31年の1月現在は、第1、第2、第5、武蔵台、本宿、白糸台、南白糸台の7つ。その内、第1は分園ができており、工事着手の第2を含めると現在は6つ。
- 稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 今後予算の関係で具体的な数字をあげておかないといけない。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 学童の施設は古い。南白糸台は比較的新しい。学童の人数について予想は立てても難しい。できれば広めに作っておいてほしかった。若松は狭い。
- 会長
 - ・ 住吉も一時100人以上でマンモスと言われた。数年経つと減ったり、増えたり。学年の谷間もある。だからと言って、第1が半分になることはないだろう。建物は伸縮できるわけではない。大きなところは比較的広めにしてあった方がいいと思う。
- にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)
 - ・ 施設について、面積以外での要望はあるか。
- 会長
 - ・ アンケートで記載している防災備品がある。
- ・ **4. 長期的視野に立った指導員の採用と労働条件の向上を求めます、について。**
- 西村 陸(公明府中幹事長)
 - ・ そもそも人材不足である。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 給料が安いという面もある。
- 会長
 - ・ 給料が安いということだけなのかなど、我々は分からない。
- 西村 陸(公明府中幹事長)
 - ・ お金だけの問題ではない。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 指導員に聞くと、市役所の担当課からあなたたちは先生でないとすごく言われると聞く。指導員は、先生でなく、〇〇さんとかあだ名で呼ばれている。子供たちとの交流ではいいかもしれないが、市役所とか関わりにおいて下に見られていると感じる面もあるという。先生ではないので先生と呼ばせないようにとか。府中市は、昔はそうでなかった。資格を求める割に、あなたたちは先生でないと発言があると、働いている人からすると一体何なのかとなる。複数の指導員から聞いている。指導員の位置付けを確認してもいいと思う。それに乗じてと一部問題行動がエスカレートする子ども達がいる。それで、指導員が辞めていくケースもある。
- 副会長
 - ・ 子供の親しみやすさではいいかもしれないが、指導員であり、上下関係として先生でもいいのでは。市からそういうことを言われるのはおかしいのでは。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 立ち位置もだが、指導員の雇用の問題も問われる。会計年度任用職員制度が導入され

ると更に問題が難しくなる。最大の山場は、学童の指導員である。要注意である。専門性を持った方の給料が安いのはおかしい。資格年齢経験により14万円、17万円とか。

➤ 稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)

- ・ 嘱託職員であると定期昇給はない。

➤ 西村 陸(公明府中幹事長)

- ・ 嘱託はキャリアアップ事業の対象になっているか。

➤ 会長

- ・ 要望書を市役所に持っていった際には対象になっていないと聞いた。

➤ 西村 陸(公明府中幹事長)

- ・ 制度があるがもったいない。補助金を出す国のルールにはまっていないということ。

➤ にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)

- ・ 市の中で他の嘱託職員もいるのに、ここだけに(指導員)補助金を付けるとなると、給与の整合性がとれないという話もある。

➤ 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)

- ・ 専門性を持った嘱託に十分な給料を払っていないということを考えると地方公共団体がブラック化していることになっている。処遇が悪すぎる。おかしい。

➤ 会長

- ・ 公設公営を求めつつ、指導員の応援も考えることになる。

- ・ **5. 育成内容に関して公営・公設での運営と共に以下について改善を求めます、について。**

➤ にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)

- ・ 嘱託、臨時職員の体制を前提に考えないといけない。先生の呼び方の話もあったが、指導方針は嘱託職員で決まり、臨時職員はその手伝いをする。子供は両者とも先生と呼ぶ中、臨時職員は嘱託の指導員の指導を受け、また指導についても指導員によって異なるという話も聞いている。指導内容の明文として学童はどういう場であるかを市役所は言っているかと思うが、整理し直さなければならないと思う。

➤ 会長

- ・ 私たちは、専門的な知識はない。出されたものがどこに問題があるか正直分からない。勉強すればという話もあり、実際に熱心に勉強されている人もいる。
- ・ 明文で出してくれるところが市であれば、公のところなので信用せざるを得ない。ちゃんとやってくれているとは思いますが、実際に運用されて私たちが不安に感じることは、どこかに問題があるのではと感じる。ただ、それを相談できないところが歯がゆいところである。

➤ にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)

- ・ 市からは回答があったとのことだが、具体的にどういう内容だったのか。

➤ 会長

- ・ マニュアルを出してもらった。指導員の基準緩和の動きがあるが質は落とさないようにと、

国の基準とは別に府中市は府中市で考えて運営してほしいと要望した。全国学童保育連絡協議会からも然り。

- ・ ただし、それぞれの書類が出ても、今の環境ではこれがおかしいとは言えない。それでも私たちとしては要望として書かなければいけないと思っている。
- ・ 過去、公設公営の説明があったがよく分からないこともあり、引き継いでいる面もある。

➤ **副会長**

- ・ 民営化でも問題が起こったときに対応できることが大事。

➤ **にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)**

- ・ 民営の悪い面だけでなく、民営でもいいところはある。公設以上のところもあるかもしれない。手段というより結果ということを追及していくことにシフトしてもいいのかなと感じる。これだけダメというよりも。

➤ **会長**

- ・ フォーラムで仙台の民設民営の話も聞いた。自分たちでしっかり運営しているので市には入らないでほしいというところもある。

➤ **杉村 康之(自由クラブ代表)**

- ・ そのようなアンケートはとらないのか。

➤ **会長**

- ・ 公設公営、公設民営、民設民営あるがみんなよく分からない。私自身もよく分かっているわけではない。

➤ **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**

- ・ 狛江市は民営で実施していて、市の財政が大変なので民間として節約しながら大変だという話も聞いた。色々な形態がある。

➤ **会長**

- ・ 3多摩では公設公営は府中市が最後。レアケース。

➤ **稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)**

- ・ 指導員は本当に6時間勤務か。実際はもっと働いていないか。

➤ **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**

- ・ 色々。

➤ **西の なお美 (生活者ネットワーク代表)**

- ・ シフトによって違う。夏休みもありかなり複雑。臨時職員、嘱託とあって、賃金だけでなくフルタイムとしても働きにくい環境にある。

➤ **稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)**

- ・ 時間延長となると、補助金の活用とか。

➤ **にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)**

- ・ 19時までできない。片付けもあるから。時間延長はどうしても民間だとやりやすい面もある。公設公営はネック。

➤ **前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)**

- ・ 残業払わないように調整しないと。南白糸台について引き続き努力する。学校の脇に空き地がある。保育園を建てようとしたが失敗している。1団地で1保育園等という制約で、設計図までできていたが市がダメだと。訴訟である。

- 副会長
 - ・ 今回は生の声ということで。
- 杉村 康之(自由クラブ代表)
 - ・ ここに書いてあることはみんなで言えば通ると思います。
- 稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 予算も。
- 会長
 - ・ 年1でお願いしているが、方向性があるのか確認したい。熱心に活動したいという人もいれば、やりたくてもどうしてもできない人もいる。また、負担に思う人もいる。勝手にこっちが考えて、勝手に拙い知識の中でやっていくのは難しいのではと感じる。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 全然拙くない。
- 西村 陸(公明府中幹事長)
 - ・ 全然そんなことはない。ただ、物事を立体的に我々もとらえなければいけないので、みなさんの立場で要望が上がって、当然現場の声も聴くとか、国の運営なども取り込みながら精査をする。その中でそれぞれの会派の予算要求として出ていくので、そう意味では声をあげていただいた方がいいと思う。今回、代々受け継いだものにプラスして、アンケートを採って精査したものが出ていると思うが、できれば僕らもファクトベースで見に行きたいという意味においては、アンケートでどんな質問をしてどんな結果だったかとアンケートの結果も併せて見せていただけると、こういう風にまとめたというプロセスや考え方が分かるのと、僕らは僕らなりの分析の仕方ができるのではないかと気がするので、可能ならそういったものを出していただければと思う。
- 会長
 - ・ 数字もお出しするということで。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ 拝見して、こちらからもこういう見方もあるよとか、こういうところが分からないけど、どうでしょうかということを積み上げていく必要がある。黙っていたら市役所はいいと思うから。言い続けないと。以前、障害があるお子さんを持つ方の申し込みが早くなった。先輩方の強い大きな要望でなった。いい悪いはあったが、かなり粘られたものだった。
- 杉村 康之(自由クラブ代表)
 - ・ 各会派がそれぞれ予算要求をします。市は分かりましたと聞く。でもバラバラで声をあげてもほとんど通りません。統一で例えば条例改正案を出せば市はやらなければいけなくなる。そういう方法ができないかなと。
- 稲津 憲護(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ それはこっち側の問題。
- 前川 浩子(府中市議会市民フォーラム)
 - ・ それはこっち側の問題。今、条例改正という話ではない。
- 杉村 康之(自由クラブ代表)
 - ・ そういうことを知っていたほうがいい。

➤ 会長

- ・ 我々がやるのはすごい数の署名が必要になり、正面から行く手段であると分かっているが、それを実行できる組織ではない。ここまでが限界。これをどのように伝えていくのが一番いいか思っていたので、そのような回答がいただけたので少し安心した。

➤ にしみや 幸一(府中市議会市民フォーラム代表)

- ・ 時間延長は明らかに府連協がやっていたからと言える。

➤ 父母会会長

- ・ 仕事がある中で、さらに仕事があると大変。本当に活動して意味があるのかと覚悟することもあった。出席された市議会議員がどれだけ、その姿勢があるのか、こちら側でも本当に真に変えようとして動いているのか、立場として出席して確認した。市議会議員も動いて頂けると市民として非常にありがたく思う。

➤ 会長

- ・ 本日は長い時間ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

以 上